

# 松戸市立病院だより



編集・発行：松戸市立病院広報委員会 〒271-8511 松戸市上本郷 4005 番地  
TEL047-363-2171 (代表) <http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

## 病院長就任のご挨拶

病院長 烏谷 博英

江原正明前病院長の定年退職に伴い、平成26年4月1日付で病院長を拝命しました烏谷博英(からすだに ひろひで)と申します。私自身は脳神経外科医です。はじめに当院の各診療科の現状についてご紹介させていただきます。精神科を除くほぼ全ての科が存在し多様なニーズの患者さんに対応することが可能となっております。

内科系では、テレビのドクターGで話題になっている総合診療科が窓口となり、紹介状を持たずに受診した患者さんや他院での診療で診断が確定していない患者さんに対して診療を行い、診断確定後に各専門科に紹介します。内科(代謝、内分泌、腎疾患)、消化器内科(消化管の内



視鏡的処置、肝胆膵疾患)、循環器内科(狭心症、心筋梗塞、経皮的カテーテル心筋焼灼術の不整脈治療)、呼吸器内科(肺が

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ◆「病院長就任のご挨拶」          | 烏谷 博英——1 |
| ◆「新任部長のご挨拶」           | 宮川 正——3  |
| ◆「新任部長のご挨拶」           | 泉本 浩史——4 |
| ◆「新任部長のご挨拶」           | 永岡 譲——5  |
| ◆「水ぼうそう(水疱)・带状疱疹について」 | 江口 広宣——6 |
| ◆「母乳外来について」           | 井上 利佳——7 |
| ◆「診療費支払機を導入しました」      | 医事課——8   |



んや重症肺炎)、血液内科(白血病などの血液疾患)、神経内科(脳梗塞、てんかん、パーキンソン病等の変性疾患)、化学療法内科(各種抗がん剤治療)リウマチ膠原病センター(リウマチ等の自己免疫疾患)があり、専門性の高い医療を提供する体制が整っています。また放射線科では放射線診断および放射線治療を行っています。麻酔科では手術時の麻酔を担当します。

外科系では消化器外科(腹腔鏡手術も積極的に施行)、整形外科(脊椎、股関節、リウマチ、肩・肘関節の治療を積極的に施行)、成人の心臓血管外科(心臓を止めないオフポンプ手術にも対応)、呼吸器外科(呼吸器内科と一体で呼吸器センターとなり、肺がんの治療をハイブリッド胸腔鏡手術も施行)、産科(高リスク分娩にも対応)・婦人科(腹腔鏡手術が可能なものは積極的に施行)、脳神経外科(開頭・血管内手術両方に、神経内科と一体で頸動脈狭窄のステント、脳梗塞 TPA 治療の先の血管内治療に対応)、形成外科(皮膚移植など)、眼科(合併症の多い患者さんにも対応)、耳鼻いんこう科(頭頸部腫瘍にも対応)、泌尿器科(主に前立腺疾患に対応)、皮膚科(皮膚腫瘍にも対応)、リハビリテーション科も揃っています。

当院の看板である小児系では小児科がほぼすべての疾患に 24 時間の対応が可能で松戸市内のみならず周辺地域からも高い評価を受けています。同様に新生児科も NICU(新生児集中治療室)にて周産期医療を担っています。またこの4月、小児の最重症部門を支える PICU(小児集中治療室)が開設され、地域周産期センターも来年に向けて準備中です。従来からの小児外科、小児整形外科、小児心臓血管外科に加え、4月から小児脳神経外科医も赴任し手術領域もさらに強化さ

れています。

もうひとつの看板である3次救急に関わる救命救急センターも最後の砦として市内のみならず、市外、埼玉南部、東京東部からの搬送にも対応しています。搬送患者数も増え、心肺停止例の社会復帰率も上がっています。

建物の老朽化は進んでおりますが、提供できる医療に関しては高い水準を維持できていると自負しております。

東葛北部地域は県内ではまだ高齢化率が高い方ではありませんが、2025年には団塊の世代の高齢者が激増し医療崩壊が危惧されます。病院の基盤となる内科医、外科医などをさらに増員できるように尽力してまいります。医療資源の乏しい千葉県では限界もあります。幸い松戸市には亜急性期、回復期リハを担う東松戸病院もあり、また在宅医療も全国一の先進地域であり、医師会との協力体制も充実しています。地域連携をより充実させることこそが超高齢化時代を乗り越えるための唯一の解決策であると考えさらに推進させていきたいと思っております。地域完結型の医療を目指し、公立病院としての独自性を出しながら、全職員一丸となり地域住民のニーズに答えられる病院にしていこうと思っております。

これからも松戸市立病院の応援をお願いします。



# 新任部長のご挨拶

皮膚科部長 永岡 譲

本年1月より松戸市立病院皮膚科に赴任することになりました。

当科について簡単に紹介させていただきます。



## 診療方針について

皮膚症状と経過を診たらきちんとした診断をつけるために、いろいろな検査を行います。診断が確定するまでは原則として外用薬や内服薬の処方を行いません。原因が不明な場合や経過の長い慢性疾患の場合でも最善の治療を行います。



## 当科の特色

当科では皮膚疾患全般の診療・治療を行います。対象疾患は接触皮膚炎や尋常性乾癬などの炎症性皮膚疾患、帯状疱疹、足白癬、爪白癬などの感染症、良性および悪性皮膚腫瘍、膠原病、自己免疫性水疱症など多岐にわたります。当院で対応できない疾病については、関連施設に紹介しております。患者さんの症状に応じて、また患者さんの希望も聞きながら治療方針を決めていますので、遠慮なくご相談下さい。また、松戸市医師会をはじめ地域の病院や診療所と連携を密にし、地域の医療機関からの紹介患者さんは治療により症状が安定した後は患者さんと相談した上、基本的に紹介元の医療機関に逆紹介させていただく予定です。現在当科で行っていないレーザー治療などの特殊な治療に関しては、関連施設にご紹介しております。



## お願い

当院皮膚科は長らく常勤医がいない状態が続き、今でも常勤医が一人という非常に厳しい状況が続いております。従って、もうしばらくは再来患者さんだけの外来診療になりますが、できるだけ早く紹介患者さんにも対応できるよう努力しております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 皮膚腫瘍について

皮膚腫瘍には良性・悪性を問わずいろいろな種類があり、一般的には高齢者に多く、高齢化が急速に進んでいる今日ではしばしば患者さんに遭遇します。当科では皮膚腫瘍の診断と治療にも力を入れております。

### ～市立病院をはじめ受診される方へ～

#### <受付時間>

午前8時30分から午前11時まで

#### <休診日>

土曜・日曜・祝祭日・年末年始

※休診日が異なる場合があります。

詳細はホームページ等をご覧ください。

### ～紹介状をお持ちの患者さんの 電話予約について～

#### <受付時間>

午前9時から午後4時まで

#### <電話番号>

047-363-0489

(土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

時間帯によっては電話回線が大変混みます。あらかじめご了承ください。

# 新任部長のご挨拶

小児脳神経外科部長 宮川 正

2014年4月、松戸市立病院 小児医療センターに小児脳神経外科が誕生いたしました。小児脳神経外科は、こども達の神経系に発生する外科疾患（手術などの外科的治療が主体となる病気）を担当しています。



小児脳神経外科の使命、スローガンってありますか？



私たちは、以下の2項目を小児脳神経外科の使命と考え、診療を展開して参ります。

① 脳神経外科診療を受けたこども達が、成長しやがて成人となった時、社会の中で活躍し、自らの経験を社会に還元してくれること。そのことを通して、私たちがこの国の未来に貢献すること。

② 脳神経外科疾患を持ったこども達に関係する全ての人達、例えば家族、医療者、学校関係者、地域の人々などが、こども達に関わることを通して自らの存在意義を感じられるよう、包括的な医療を提供する組織になること。

そして、一人ひとりのこども達がその子らしく生きるために、その子に合った医療を考案し、提供する“その子らしく、その子のために”をスローガンとして、診療して参ります。



小児脳神経外科ってどんな科ですか？



こどもは、大人のミニチュアではありません。こども達の脳や脊髄といった神経系は、発育や発達段階によって大きく変化することから、それを診療するためには高度かつ専門的な知識、技術、経験が必要となります。私たちは、小児医療センターにおける脳神経外科として、関連各科との密接な連携のもと、より高度で包括的な医療を提供しています。



どういふこども達が対象ですか？



胎児を含む18歳以下の子ども達に発生する、脳、脊椎・脊髄、末梢神経疾患の診断と外科治療を担当しています。また、脳神経外科手術を受けたこども達、キャリアオーバーした成人のフォローアップも行っています。



どんな病気を診てくれますか？

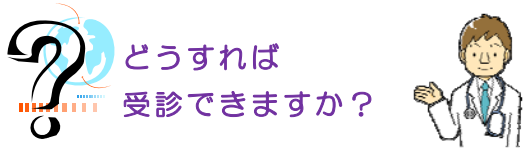


小児脳神経外科疾患＝こども達の神経系に発生する外科疾患、を担当しています。具体的には下記のような疾患です。

- 脳腫瘍、脊髄腫瘍
- 頭蓋縫合早期癒合症、頭蓋頸椎移行部疾患などの骨の先天奇形
- 事故による頭部外傷、虐待による頭部外傷、脊椎脊髄外傷
- 二分脊椎などの神経管閉鎖不全症、脊髄脂肪腫、キアリ奇形などの神経系の先天奇形
- 痙性麻痺や痙縮、難治性てんかんなどの機能的神経外科疾患
- 水頭症、ダンディ・ウォーカー症候

群、くも膜のう胞などの脳脊髄液に関連した疾患

- もやもや病、脳動静脈奇形などの脳血管障害
- 腕神経叢障害などの末梢神経障害



まずはかかりつけの小児科の先生に相談してみましょう。より専門的な医療が必要なのか、緊急性があるのか、などを判断してもらいましょう。また、頭をぶつけた、意識が悪いなどの救急疾患にも対応しています。詳しくは、当科のホームページをご覧ください。

## 新任部長のご挨拶

心臓血管外科部長 泉本 浩史

2014年3月から松戸市立病院に赴任しました泉本浩史（いずもと ひろし）と申します。出身は四国・松山で、中学時代には毎土曜日の体育の時間に、マラソンと称して“坂の上の雲”を眺めながら松山城を駆け登っていました。専門は胸を開けて行う外科的手術による、心臓病およびその周辺疾患に対する治療です。当院では従来から小児心臓血管外科の診療を行ってきましたが、大人的心臓血管外科の診療も開始します。

診療の領域は、成人の心臓と血管の手術です。心臓の手術が主体で、特に、両側内胸動脈のみをグラフトとして用いた複雑冠動脈病変に対する手術あるいは弁疾患に対する形成的手技の開発に取り組んで参りました。

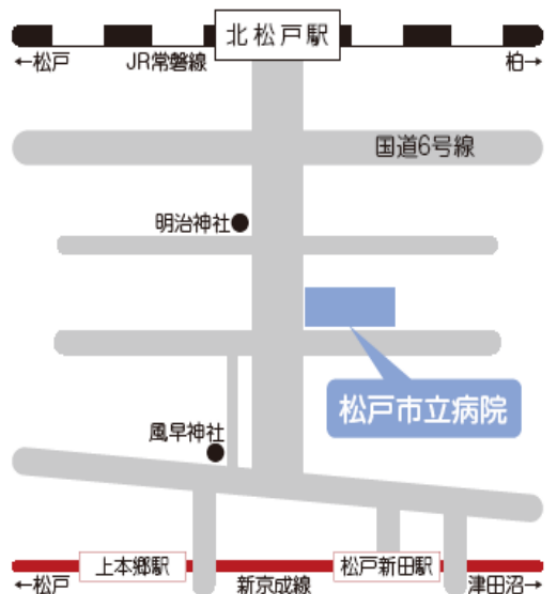
日々の臨床サービスでは一期一会を大

切にし、病気で苦しむ患者さんとそのご家族の方を、少しでもお助けできれば幸いです。大人の方の先天性心疾患等、胸を開けて行う心臓の手術についてのご相談がありましたら、外来にて受け付けていますので、是非一度、外来にて病気についてご相談ください。心臓の病気、特に外科的手術による治療でお悩みの方はぜひご相談ください。また、可能でしたら、紹介状をお願いします。

“松戸市立病院で心臓の手術を受けてよかった”と言っていただけのような診療サービスを目指して、心臓外科チームを作り上げたいと考えています。どうぞ、よろしく願いいたします。



### 当院までのアクセス方法



- 常磐線 北松戸駅東口下車 徒歩 10分
- 新京成線 上本郷駅下車 徒歩 10分

## 水ぼうそう(水痘)・带状疱疹について 小児科 江口 広宣

「水ぼうそう(水痘)」と「带状疱疹」。どちらもよく耳にする病気かと思えますが、この二つは、同じウイルスが原因で起こることはご存知でしょうか？

「水痘・带状疱疹ウイルス」という名のウイルスに、初めてかかった際に認める症状が水ぼうそう(水痘)です。水ぼうそうが治った後も、このウイルスは神経節に潜伏します。この潜んでいたウイルスが、何らかの理由で再び活性化し、皮膚病変を形成するのが带状疱疹です。

水ぼうそうの多くは子供(特に就学前児童)のかかる疾患ですが、免疫がない場合(または何らかの理由で低下している場合)は、大人にも発生します。子供の水ぼうそうに比べて、大人の水ぼうそうは重症化しやすいと言われています。

接触や飛沫感染だけでなく、空気感染もする代表的な感染性病原体の一つが、水痘・带状疱疹ウイルスです。発疹は体幹や顔、四肢のみならず、頭皮や口の中に現れることもあります。全ての発疹がかさぶたになるまで、周囲への感染力があるとされ、注意が必要です。実際にかかってしまった場合は、軽症であれば自然に治るのを待つ場合もありますが、症状によっては抗ウイルス薬を用いて治療することもあります(抗ウイルス薬には内服薬と注射薬があります)。

予防にはワクチンが有効です。しかし接種率は決して高くなく、毎年100万人以上の方が水ぼうそうに罹患すると推計されています。集団保育に参加する前には受けておきたいワクチンの一つです

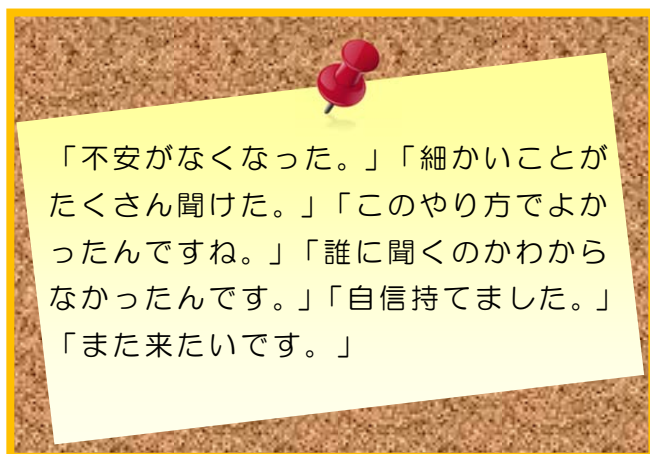
(1歳を過ぎれば接種可能です)。

水ぼうそうの多くが子供に発生するのに対し、带状疱疹に罹患する90%以上の方は成人です。加齢やストレス、疲労など、様々な理由で個体の免疫が低下した際に、神経に潜んでいた水ぼうそうのウイルスが、再び活性化するのです。胸や腹、背中、顔などに水疱疹として現れます。典型的な場合は体の片側に出現して痛みを伴います(発疹の出る前に痛みが出ることもあります)。顔に生じた带状疱疹は、眼や耳の症状を伴うこともあります。また、带状疱疹が治った後も、数ヶ月間にわたって痛みの持続する、带状疱疹後神経痛というものがあります。痛み方は様々ですが、「ヒリヒリする」とか「チカチカする」、「焼けるような」などと表現されることが多いようです。60歳以降で带状疱疹にかかった方は、この後遺症がより起こりやすくなると言われていています。長期にわたる痛みの持続は、日常生活にも大きく影響を及ぼすものです。疑わしい症状を認めた際には、早めに医療機関を受診されることをお勧めします。



# 母乳外来について

産婦人科病棟師長 井上 利佳



上記は、母乳外来を受診後の方の声です。リピーターの方も増えてきました。

産婦人科外来に母乳外来を開設して、5年が経過しました。昨年までは、当院で出産された方を対象に実施していましたが、平成26年1月より、他院で出産された方にも受診していただけるようになりました。

平成17年度の乳幼児栄養調査によると、妊娠中の96%の方が母乳で育てたいと思っているそうです。(厚生労働省の乳幼児栄養調査は10年に1度で実施されるため、最新のデータが平成17年のものです。)当院に通院されている妊婦さんも、ほとんどの方が母乳で育てたいと希望されています。

しかし、インターネットやメディアからの情報が多く氾濫している反面、母乳育児を知らない環境で育った女性が、支援を受けず、母乳で育てていくことは難しい現状にあります。当院でも、入院中は母乳育児のみであった方が、生後1カ月健診時には、本人が希望していたにも

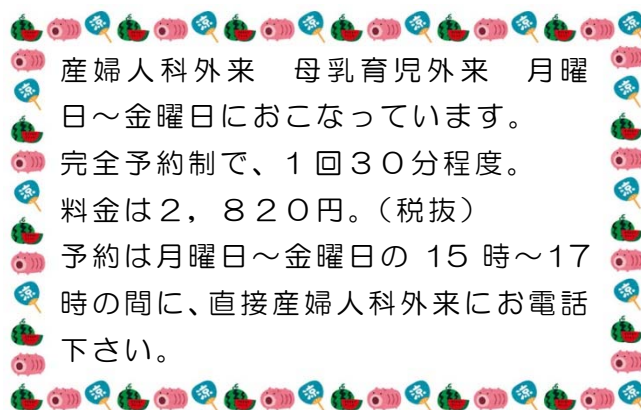
かわからず、人工栄養になっていたことが多くありました。そしてその原因が母乳育児について適切な時期でのフォローアップがないことや、誤った情報、専門家からの指導や支援不足から生じていたということもわかりました。

これらの事がきっかけとなり、母乳育児の専門家である助産師が、みなさまのご希望に添えるよう支援していきたいと考え、念願であった母乳育児外来の設立に至りました。

当院の母乳外来では、退院してからのフォローアップ・新生児科病棟入院中の母児の授乳指導・乳腺炎・授乳中の母乳育児・卒乳等の支援をおこなっています。相談内容として最も多いのは、母乳分泌が充分なのに抱き方や含ませ方が適切でなく、赤ちゃんが母乳をうまく飲んでいないことです。これを改善する事で体重増加につながる事が多くあります。

また、母乳が足りているのか、このままで大丈夫なのかという不安をお持ちの方も多くいらっしゃいます。このような不安にも、乳房の状態や、赤ちゃんにあった哺乳間隔、哺乳方法をアドバイスさせていただき、授乳方法を獲得していく過程を支援していきます。

母乳育児の事だけでなく、育児全般の相談もお受けできます。不安なことがありましたら、一人で悩まず、まず相談してみてください。



産婦人科外来 母乳育児外来 月曜日～金曜日におこなっています。  
完全予約制で、1回30分程度。  
料金は2,820円。(税抜)  
予約は月曜日～金曜日の15時～17時の間に、直接産婦人科外来にお電話下さい。

# 診療費支払機を導入しました

## 医 事 課

当院は、平成26年3月17日より2台の診療費支払機を導入いたしました。今までどおり窓口でのお支払いも選ぶことができますので、お支払いできる箇所が増えました。

大きな変更点としては、医療費の計算が終了した時のお知らせ方法です。今まではマイクでお名前を呼び出しさせていただいておりましたが、診療費支払機の導入に伴い、ディスプレイに会計番号を表示してお知らせする方法に変更いたしました。

診療費支払機でのお支払いは、現金払いのみとなりますので、クレジットカードでの支払いを希望される方は窓口でのお支払いとなります。利用方法等が不明な方のために説明員を配置しておりますが、操作としては、診察券を挿入し、表示された金額を機械に投入いただくことで領収書と診療明細書が発行されるものです。なお、入院されている方の定期請求や退院請求は、診察券だけではなく、金額通知書のバーコードを機械に読み取らせることでも金額が表示されますので、そのままお支払いができるようになっております。

診療費支払機は、会計される方の約半数の方にご利用いただいておりますが、事前に支払い金額が分からないこと、会計後に処方箋をお渡しする方式に変更となったことなどについて、ご指摘もいただいております。

退院時は、支払い状況を確認させていただくため、会計後に一度病棟にお戻りいただいておりますが、診療費支払機の導入の際にその方式を廃止し、速やかにお帰りいただけるようにいたしました。今後も患者さんやそのご家族の方々の負担をできるだけ軽減し、皆さんに気持ちよく当院をご利用いただくため、職員一同努めてまいります。ご理解ご協力のほど、お願いいたします。

